

世界の中に人を位置づける

——人についての四次元主義的捉え方に対する批判的検討——

鈴木生郎

(慶応大学大学院, 慶応大学グローバル COE
「論理と感性の先端的教育研究拠点」研究協力者)

2008年5月24日(土曜日) 14:00-
東京大学駒場キャンパス 101号館 2階研修室

人とはどういった存在者なのか。人の存在論とは、こうした問いに答え、世界の中に人を(つまりは、私たち自身を)適切な仕方
方で位置づけようとする試みである。

人の同一性

四次元主義

四次元主義によれば、人を含めすべての物質的対象は、単に空間のみならず時間的な延長をもつ「時空ワーム」として捉え直されることになる。